

編集後記

9月11日、アメリカで発生したアラブ過激派による同時テロは、航空機4機を同時にハイジャックし、乗客もろともビルに激突するという世界を震撼させる未曾有の事件で、その規模、手口からみてアメリカ史上また人類史上特記される1ページとなりました。

約1ヶ月後の10月8日未明、米英両国がアフガニスタン空爆を開始し、軍用飛行場、アルカイダの訓練キャンプ等に対する報復爆撃を続けましたが、10月12日頃には、すでにめぼしい標的も無くなり、戦闘機は爆弾を投下しないまま空母に帰艦するようになったと報じられました。

一方、アメリカ国内では10月12日頃より、炭疽菌による感染例が報告され、ピンラディン一派による細菌テロの可能性も示唆されています。

さらに10月20日には米陸軍がアフガン南部に特殊部隊を投入し、地上戦が始まりましたが、未だピンラ

ディンの所在を突き止めるまでには至っていません。

アラブ過激派によるテロを封じ込めるまでのシナリオはまだ見えません。目に見えない敵に対する長い戦いの「泥沼化」が懸念されます。

さて、本号の巻頭言は「原子力安全・保安院が目指すもの」と題し、経済産業省資源エネルギー庁原子力安全・保安院電力安全課長の福島章氏にご執筆いただきました。

報文は、施工設備・機械の開発と施工に関し、中部電力(株)の洞道構築の施工報告「高透水性砂礫地盤における密閉型矩形推進機による洞道構築」、鷹生ダムで使用された「自然環境を配慮したダム用コンクリート運搬設備の開発」、長崎自動車道工事で試験施工が行われた遠隔操作可能な深礎掘削機械化工法「センターポール式深礎掘削工法」、長島ダム貯砂ダムのコンクリート製造に適用された「CSG材料製造システムの開発」、遠隔測量システムに関する「小口径シールドにおける遠隔

測量システムの現場への適用」、舗装に関する「2層同時舗設工法と施工機械の開発」の6編を掲載致しました。また施工ソフトの開発例として、神戸の大規模造成工事に導入された「画像処理を利用したダンプトラック運行管理システムの開発」、仮設備の低減に関する事例紹介として「水陸両用機械による仮設備の低減」、合計8編を掲載いたしました。

随想は「年賀状余話」と題し、(株)熊谷組土木本部ダム技術部長の田中雄作氏と「私とマンホールの20年の奮戦記」と題し、全国エボ工法協会会長の椿森信一氏のお二方にお願いました。

原稿締切り日の関係で、暑期中、またご多忙中、貴重な盆休みに御執筆頂いた方も多いかと拝察します。厚くお礼を申し上げます。

最後に、会員および読者の皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。(江藤・高場)

No.621

「建設の機械化」

2001年11月号

〔定価〕1部 840円(本体800円)
年間9,000円(前金)

平成13年11月20日印刷 平成13年11月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷人 山田純一

発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501;FAX(03)3432-0289;http://www.jcmanet.or.jp/

建設機械化研究所 一〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154(吉原郵便局区内)

電話(0545)35-0212

北海道支 部一〒060-0003 札幌市中央区北三條西 2-8 さつげんビル内

電話(011)231-4428

東北支 部一〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 二日町東急ビル

電話(022)222-3915

北陸支 部一〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5 白山ビル内

電話(025)232-0160

中部支 部一〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26 昭和ビル内

電話(052)241-2394

関西支 部一〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27 大手前建設会館内

電話(06)6941-8845

中国支 部一〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 築地ビル内

電話(082)221-6841

四国支 部一〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22 建設クリエイティブビル内

電話(087)821-8074

九州支 部一〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56 八重洲天神ビル内

電話(092)741-9380

印刷所 株式会社技報堂 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6